

知っていますか？ ヤングケアラーのこと

近年、問題視されているヤングケアラー。勉強に励んだり、部活動に打ち込んだりする時間がとれない子どもたちがいます。小さい頃から当たり前のように家族の世話をしているので、自分がヤングケアラーだということに気付いていないことがあります。また、周囲に家族のことを話せず孤立してしまうこともあります。子どもが子どもらしく過ごすため、ヤングケアラーに関心を向けてみませんか。



市 HP

ヤングケアラーとは

ヤングケアラーとは、本来大人が担うような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことです。自分の時間を使い家族の世話などを行うことで、学校や部活動を休まざるを得ない状況になったり、友達との時間が持てなくなったりしてしまいます。家族の世話などをするのは悪いことではないですが、それが続くと疲労や睡眠不足、重労働によるけがなど、成長や健康に影響します。

ヤングケアラーは、こんな子どもたちのことです(一例)

出典：厚生労働省



家族の代わりに料理・洗濯・掃除などの家事をしている。



家族の代わりに兄弟の世話をしている。



病気や障がいのある家族の世話、入浴、トイレの介助をしている。



家計を支えるために労働している。

周囲の気付きが大切です

多くのヤングケアラーは、家族のケアをすることは当たり前のこととして受け入れているため、自分自身がヤングケアラーという自覚がないことが多く、相談や支援につながりにくい現状があります。学校や地域での様子で、もしかしてヤングケアラーかもと思ったら、下記の相談窓口へご相談ください。子どもが相談できる環境づくりと家族のケアを周囲で支援できるよう対応します。

お気軽にご相談ください

自分の気持ちを誰かに話すことはとても勇気がいることです。でも、話を聞いて寄り添ってくれる人は必ずいます。自分のことを話してみてください。

例えば
こんな人に

- ・担任の先生・保健室の先生・その他の学校の先生・子ども食堂の人
- ・病院や福祉サービスのスタッフ・民生委員・児童委員・主任児童委員 など

こども課家庭児童相談室
(平日 午前8時30分～午後5時15分)

☎ (76)2114

児童相談所専用ダイヤル
(24時間 年中無休)

☎ 0120(189)783

24 時間子供 SOS ダイヤル
(フリーダイヤル)

☎ 0120(0)78310